



町長日誌 No.157

町長日誌の第157号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

11月13日(日) AM11:45

今朝は暖かく雨模様で積もった雪もかなり融けそうです。11月は全国町村長大会など様々な組織の大会や省庁・国会議員への要請活動の季節です。今年も先週は道路整備の大会や要請活動、そして明日から一週間は町村長大会を中心に酪農畜産の予算要請や交付税の確保要請や過疎対策・国民健康保健制度等の全国的な集会や来年度予算の確保要求活動が続くのです。毎年のことですが、政局の動きが無いと最近では補正予算と言う大盤振る舞いが無いのですが、どうやら12月から1月にかけての衆議院解散は無くなったようです。それどころか、アメリカ大統領にトランプ氏が決まった事から、TPPや駐留米軍維持費など1月のトランプ政権スタートに向けた水面下の交渉が何よりも優先される雰囲気です。

11月9日(水)

午前中は紋別市長を先頭に旭川・紋別高規格道路建設促進期成会の来年度予算要請活動を国交省や国会議員に対し行いました。午後からは「安全安心の道づくりを求める全国大会」に参加しました。大会終了後、北海道としての来年度予算の要請活動を行ったのですが、私は現在北海道の道路整備の役員をしている関係から班長として財務省に伺いました。財務省では徳島県の参議院議員三木亨財務大臣政務官と面談し、私は「東京では玉ねぎが昨年の3倍の価格になっている、不作ならまだしも道路や線路が台風で被害を受けて玉ねぎを運べないと言うことは情けない事だ！ 国の安全保障はまず食糧確保ではないか！ 食糧自給率200%の北海道、玉ねぎ生産の8割を占める北見から運ぶルートが無いと言うことは政治家として反省してほしい！」とかなり生意気な事を申し上げたのですが政務官からは「その通りだ！ この様な事にならない様道路整備などを進めるよう予算を確保したいと考えるが、来年も消費税財源が確保できないため全体的に厳しい予算編成になる！」と言うお話を頂きました。

11月11日(金)

沙留漁業協同組合が経営する水産加工施設の老朽化著しい冷蔵庫と「ホタテの玉冷」を製造する時に使用するトンネルフリーザーを視察させて頂きました。私もこれまで施設の内部、特に冷蔵庫の中や老朽化著しい建物の構造、玉冷づくりの現場を見たことが無かったものですから、大変勉強になりました。現在沙留漁協では船を冬期間陸揚げする船巻施設など港の整備を長期計画で進めています。なかでも課題は、より衛生的な製造現場が求められる水産品に加工施設の老朽化は大きな悩みで、現在早急に施設の改築を含めた検討に入っていて町に対しての支援要請もある事から、まず現場を見てみることにしたものです。ちょうど市場では底網にかかったカレイなどが水揚げされていたのですが美味しそうなカジカも沢山ありましたが、専務のお話ですと殆ど引き取り手が無いため捨てられてしまうのだそうです。この季節鍋にすれば超高級品なのですが、店頭に並べても料理できない主婦が増えていて売れないと言うのです。カジカを鍋用にさばいてあって、野菜などの具材やタレもセットになって買って帰ればすぐに美味しいカジカ鍋が食べられる様な商品製造を誰かやってくれないのか？ と思いながら港を後にしました。

さて、この雪は根雪になるのか否か？ いつもより2~3週間早い大雪で除雪車も出動しました。興栄川沿いに植えられてある「ナナカマドの木」葉が落ち赤い実だけが鈴なりになっているのですが、朝の出勤時に車窓から見えるこの赤色と雪の白色のコントラストが何とも言えない幸せな気持ちにしてくれます。何処にもないこの町の宝物の風景だと私は思っています。ナナカマドは「町の木」とされていますがご存じだったでしょうか？ さて、明日から1週間東京に行ってまいります。東京はこれから銀杏の木が黄色く色づきます。これだけ季節や風土の異なる日本に私たちは生活していますが、何もかも一律に考える傾向が強い昨今の政治の有り様に疑問を感じるのは私だけでしょうか？ さて、今年もインフルエンザが流行りだしました。かく言う私の様な東京に行き来する輩はその運び屋の様なものと同責任を痛感していますが、どうかそれぞれご自愛ください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。